

編*花ワークショップ

野馬土の新聞

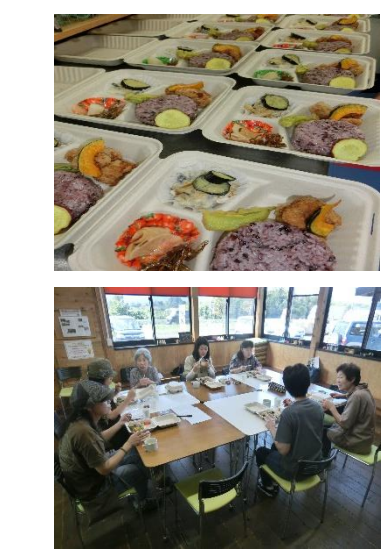
(Web版)

2019年10月号
 特定非営利活動法人
 野馬土
 相馬市石上字南白鬮320
 TEL.26-8437
 FAX.26-8203

10月5日(土)心の復興事業
 第七弾『編*花ワークショップ』
 を開催しました。
 初めに講師の先生から、各地で
 ワークショップを開催するようにな
 ったきっかけのお話しや、いま
 から作る編花の編み方の説明があ
 りました。
 いざ作業が始まると、たくさん
 の毛糸や糸の中から、自分好みの
 ものを見繕い、かぎ針で真剣に編
 んでいる様子が見られました。



参加された方同士も自然とコ
 ミュニケーションが取れており、
 教えてあげたり教えてもらった
 りと全体的に良い雰囲気が進ん
 でいきました。
 いざ作り終えてみると、とて
 も色鮮やかな髪飾りやブローチ
 等ができあがり皆さん大満足
 ワークショップ最後は、野馬
 土特製ランチで交流。美味しい
 ランチを片手に感想や質問が飛
 び交い、皆さまが大満足のワー
 クショップとなりました。



Café 野馬土のお弁当、お惣菜始 まっています。



オーガニックコットン 収穫イベント

台風19号やその後の大雨で、相馬
 地方も大きな被害を受けました。イ
 ベントや会議等も軒並み中止になっ
 ている中だったのですが、会場の
 コットン畑は水も引いており、10月
 27日に予定通り実施しました。実は
 綿を摘むというより、風や雨で飛ば
 され落ちたワタを拾うといった作業
 でしたが、50人程が参加し2時間で
 コンテナいっぱいワタが収穫でき
 ました。発電関係者やオーガニック
 コットンの会社、明治大学の皆さん
 等が参加されました。



台風19号の影響による断水も復旧し、よ
 うやく片付けが進んでいた相馬駅周辺をは
 じめ、多くの場所がその後の大雨による影
 響で再度冠水、浸水の被害を受けました。
 東日本大震災の津波や原発事故で移転、
 再出発された場所でも被災された方もおり、
 水害の脅威に言葉を失いました。相馬市や
 南相馬市の様子も全国的に大きく報道され、
 心を向けてくださっている方や視察ツア
 ーの参加者の皆さま等、たくさんのご心配や
 励ましの言葉を頂戴いたしました。また、
 給水タンクやペットボトル、タオル類の物
 資のご支援もございました。今後、ふる
 さとの復興と元気を支えるNPOとして復
 旧のお手伝いを担いながら、防災・減災へ
 の取り組みにも注力していきます。

「ご支援ありがとうございました。」
 「ありがとうございます。」

福島第一原発20km圏
 内ツアーガイドで構成さ
 れる「被災地フクシマの
 旅実行委員会」が開催さ
 れました。最近では3年
 連続、5年連続と毎年現
 地視察に来られる方が多
 くいらつしやいますので、
 今まで案内できなかった
 場所や新たに増えた施設
 等、ガイドさん達にご案
 内して下さることかと思
 います。また、東日本大震災の事故前に浪
 江にお住まいだった方が、今も浪江にある
 自宅をツアー客に対して開放するとの情報
 もありました。解放となれば、震災そして
 原発事故の資料館となるイメージです。た
 くさんの方が訪れて、震災の正しい情報が
 伝わる場となればと願っています。



被災地フクシマの旅 実行委員会